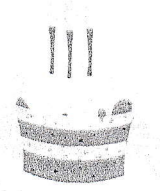


あきやま子どもクリニックニュース2019年10月号



22周年記念

10月1日は当院の開院記念日です。22周年を迎えます。皆様のご協力によって、年を重ねられることに心から感謝しています。

まもなく1歳2ヵ月になる初孫はひとり立ちをしそうです。大人の動きをよく見ており模倣が上手になりました。1年の成長の大きさに目をみはります。

院長より

「就学時健診」



10月に入ると就学時健診が始まります。お子さん達は小学校に通うことを意識することになります。万全の用意をして入学の日を迎えたいものです。そのためには、生活リズム、身辺自立、挨拶など基本的な事柄を整えましょう。万が一、まだ困難さがある場合は保育園や幼稚園に相談しておくことをお勧めします。当院では5歳児健診を実施し、就学準備を一緒に考えています。詳細は受付にお問い合わせください。

また、麻疹・風疹やおたふくかぜの2回目の予防接種も済ませておきましょう。

最近の流行っている病気

季節の変わり目と寒暖や気圧のせいでゼイゼイの咳が増えてきました。また、喘鳴を主症状とするRSウイルス感染もあります。インフルエンザも流行しはじめました。

感染症として、手足口病、突発性発疹、水痘、溶連菌感染症、おたふくかぜがあります。

Mama&Baby



生まれたばかりの赤ちゃんがおもちゃで遊ぶというのは難しいことですが、3か月くらいになると指先の動きが発達し、物をつかむようになります。ここでは、オーボールを用意しています。赤ちゃんの小さな手や、弱い力でもつかみやすく、やわらかくて当たっても痛くありません。振るとカラフルなビーズが揺れカラカラと音が鳴るので、目で追ったりします。やっとつかめたオーボールを振り回したり、口にもっていこうとする様子は、とても可愛いです。色々なおもちゃで遊べる第一歩です。

(文責 酒井敏恵)

訪問看護ステーション

在宅で生活する、特に呼吸器管理が必要な子どもたちにとって、四季の移り変わりに応じて体調管理を考えていくことは重要です。受診や通園など外出する機会もあり、子どもたちの状態と生活リズムに応じて環境調整をします。これからの季節、寒くなったり暑い日があったり、また、1日においても温度変化が大きい日もあり、痰の量や性状などに変化が見られるので、確認しながら、体調管理をしていきましょう。

(文責 梅田可愛)

病児保育室便り



10月に入り、咳で利用するお子さんが多くなりました。咳の時に大変なのが、お昼寝の時です。横になると咳が出てしまい、なかなか眠れず、眠れたとしても咳が止まらず起きてしまう事があります。あきやまルームでは、その時の対応として布団の下(上半身)に毛布や厚手のタオルを畳んで入れて頭部を高くしています。すると、息の通りが楽になり咳が少し軽減され、眠れるようになっていきます。この対応時に気を付けている事は、頭部を高くしていることで左右に転がってしまう事があるので周りにタオルなどを敷いて床に頭や顔をぶつけないようにしています。ぜひ、ご家庭でも試してみてください。(文責 千葉美香)

インフルエンザ予防接種
接種は10月8日から開始しています
予約については、ホームページをご覧ください。
かかりつけ医にされている方は会員用ホームページをご利用ください。



今月の代診と休診

2日(水)	午後診療	宗像先生
8日(火)	午後診療	宗像先生
9日(水)	午後診療	宗像先生
11日(金)	午前・午後	宗像先生
15日(火)	午後診療	宗像先生
18日(金)	午後診療	宗像先生
29日(火)	午後診療	宗像先生

木曜日の早朝・午前診療は濱野先生です。